アマチュアオーケストラ 新交響楽団第137回演奏会
The New Symphony Orchestra the 137th Concert


原田幸一郎(指揮)


野島　稔(ピアノ)

指揮:原田幸一郎
HARADA Koichiro, Conductor

ピアノ独奏:野島 稔
NOJIMA Minoru, Piano

ウェーバー:歌劇「オイリアンテ」序曲
Carl Maria von WEBER: Overture to "Euryanthe"

バルトーク:オーケストラのための協奏曲
BARTOK Bela: Concerto for Orchestra

ブラームス:ピアノ協奏曲第1番ニ短調
Johannes BRAHMS: Piano Concerto No.1 in d-minor

1992年10月4日(日)2:00p.m.
Sunday, October 4, 1992 at 2:00 p.m.

東京芸術劇場大ホール(池袋駅西口下車)
Tokyo Geijutsu Gekijo Main Hall (Ikebukuro Sta. West Exit)



S席:¥2,500 A席:¥2,000 B席(自由席):¥1,500 *おそれいりますが未就学児の入場はお断りさせていただきます。
チケットのお申し込み・お問い合わせ:コンサートサービス03-3263-3858　チケットのお申し込み:チケットぴあ03-5237-9990 チケットセゾン03-5990-9990

原田幸一郎と野島稔
この組合わせは、期待できます。

私たちの10月の演奏会は、日本の代表的なヴァイオリニストとして、また緻密でしかも厚みのある音楽を聴かせる優れた室内楽奏者として知られ、近年は指揮者としても評価の高い原田幸一郎氏との４度目の共演になります。

メイン曲のブラームスのピアノ協奏曲は、ほとんど交響曲ともいえる壮大で彫りの深い建築を思わせる傑作ですが、ソリストには原田氏との共演も数多い国際的なピアニストである野島稔氏をお招きします。この２人の絶妙な呼吸のやりとりの中にどんな味わいのある音楽が醸し出されるのか、大いに期待されるところです。

ウェーバーの「オイリアンテ」は歌劇としては現在ほとんど上演されないものの、この優れた序曲だけは演奏会の開幕を告げるにふさわしい華麗で優美な佳品として愛されています。また２曲目のバルトーク「オーケストラのための協奏曲」は、1943年にボストン交響楽団の委嘱作品として白血病との闘病中に一気に書き上げられた晩年の名作であり、改めてご紹介するまでもないでしょう。

みなさまのご来場を心からお待ちしています。

(K, I－団員)

新響は団員を募集しています。

新交響楽団は会社員、教員、学生、主婦などなど、さまざまな職業・年齢にわたる団員で自主運営されているアマチュアオーケストラです。音楽監督の故・芥川也寸志氏が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、あなたの力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧になって下さい。いつでも歓迎です。連絡先：市川☎0425(62)4595　入団費3,000円、団費月額4,000円。練習は毎週土曜午後６～９時、東京文化会館他にて。

新響の演奏会予定

●第138回演奏会

1993年１月30日(土)　東京文化会館７時

指揮：フランシス・トラヴィス

曲目：ショスタコーヴィチ／祝典序曲

芥川也寸志／交響三章

リムスキー＝コルサコフ／シェエラザード

●第139回演奏会

1993年４月24日(土)　東京文化会館７時

指揮・曲目：未定

●第140回演奏会

1993年７月10日(土)　東京芸術劇場７時

指揮：原田幸一郎

曲目：未定

●第141回演奏会

1993年10月10日(土・祝)　東京芸術劇場２時

指揮：石井眞木

曲目：未定



STEINWAY & SONS®

伝統と手作りが生んだ
世界の逸品
スタインウェイ

日本総代理店　株式会社 松尾楽芸社

本　　社　東京都港区芝大門1丁目9番1号
〒105 ☎3436-4331(代)

関西営業所　神戸市中央区磯辺通2丁目2-10
〒651 ☎078－221－4071(代)

■美しいカタログを用意しております。機種名をご記入の上、お申し込みください。■お求めやすい長期ローンのお取り扱いをしております。ご利用ください。